

松戸ロータリークラブ会報

第2688回 例会

No.2687

2011年8月24日 発行



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
Reach Within to Embrace Humanity

2011-12年度 国際ロータリーテーマ

■ 本日のプログラム

2011年8月24日(水)

卓話「クラブ奉仕について」

島村俊充 会員

■ 次回のプログラム

2011年8月31日(水)

卓話「例会監督について」

田中忠行 会員

『四つのテスト』 言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

『THE 4-WAY TEST』 Of the things we think, say or do

- ① Is it the TRUTH?
- ② Is it FAIR to all concerned?
- ③ Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- ④ Will it be BENEFICIAL to all concerned?

- 例会日 毎週水曜 12:30~1:30
- 例会場 伊勢丹松戸店本館11Fバンケットルーム
TEL: 047-364-1111
- 事務所 松戸市松戸1281 ユニティビル2F
TEL: 047-366-2266
FAX: 047-361-2255
U R L : matsudo-rc.com
E-mail : info@matsudo-rc.com

- 会長 常盤 映彦
- 会長レク 加藤 栄
- 副会長 島村 俊充
- 幹事 中澤 雅彦
- 会計 猪股 貴久
- 会報委員 橋口 和幸 中田智次郎 松田 茂一
小林 登 田原 晨暁 杉浦 章浩
鈴木 昌広 車田 善教 浅井 利明
飛田 勤

●第2790地区ガバナー 山田 修平 (木更津東RC)

THE ROTARY CLUB OF MATSUDO 松戸ロータリークラブ

国際ロータリー第2790地区 創立:昭和31年11月14日 RI承認:昭和31年12月17日

「会員増強について」

会員選考・増強委員会

待山克典 委員長



私が会員選考・増強委員長に指名されて、初めに思ったことは、自分は、ロータリークラブを本当に理解しているのだろうかと言う事です。それは、ロータリークラブを理解していなければ、人をロータリークラブに入会して

いただく事はできないと考えるからです。私は入会して6年目なので、答えを出すのは無理かもしれませんが。しかしながら、会員増強という責務は既に始まっていますので、この1年、会員増強に努力していく所存であります。

ところで、私が掲げた会員増強方針はクラブ活動計画書にも書いたとおり、

- (1) 増強目標を純増5%以上とし、55名以上の体制にする。
- (2) 会員に対し、会員増強についての責務を負うことの啓蒙に努める。
- (3) 未充填の職業分類の充填に努める。
- (4) 退会防止の対応策を検討する。

以上、4項目です。私はこれだけでも大変な事だと思いますが、第2790地区の増強方針と全国的な増強の考え方を見て行きたいと思えます。

2011 - 12年度地区協議会が、4月24日(日)アパホテル東京ベイ幕張で開催されました。そこで、山田修平ガバナーの本年度第2790地区の運営方針が示されました。第2790地区の方針について「より強力な、魅力あるクラブ」にするため、10項目の重点目標を掲げられました。その中でも、「特に本年度は会員増強に力を入れて頂き、各クラブ10%の会員増強を目指して頑張ってください。」と述べられ、また、「どうすれば退会者を減らすこ

とができるかを議論して欲しい。」と述べられました。

そして、2011 - 12年度第2790地区クラブ奉仕セミナーが7月23日(土)ホテルポートプラザちばで開催されました。そこでは、各分区に分かれて「どうすれば退会者を減らすことができるか」をテーマにディスカッションを行なってきました。

その時の参考資料が、第2740地区佐藤豊会員増強委員長の「ロータリーの輝く未来 - 会員増強が源」です。佐藤委員長は、ロータリーの友の今月号(8月号)のP10にも、「会員増強のためのネットワークで、めざそう純増」という寄稿もされています。それでは、これらを基に会員増強について考えてみたいと思います。(別紙参考資料及びロータリーの友8月号)

今、見てきた様に、会員減少の問題点と改善策、会員増強の為にネットワーク作りの重要性はその通りだと思います。しかしながら、各ロータリークラブの在り方や性格を考えながら、会員増強をしていく必要があると思います。

最後になりますが、増強委員会だけでは、会員増強と減少防止は不可能です。特に広報委員会(松本幸夫委員長)とクラブ研修委員会(湯本高之委員長)の存在が重要ですが、会員1人1人の拡大の意識が一番重要な事であると考えます。会員の皆様、何卒、宜しくお願い申し上げます。

参考資料

平成23年2月26日(土)
新横浜プリンスホテル

R1ゾーン 1・2・3
2011~12年度 全国会員増強セミナー

ロータリーの輝く未来 —— 会員増強が源

第2740地区
会員増強委員長 佐藤 豊

はじめに

ロータリーの会員数が13年連続で減少している。
その傾向は今後も続きそうで、好転の気配は伺えない。
ロータリー関連の資料や各地区におけるあらゆる会合、セミナーにおいても、改善策、解決策が熱心に検討されているが、「これで大丈夫」といえる決定的な答えは見出されていない。

会員減少の問題点

会員数減少の原因を分析すると、まず退会防止が第1の原因である。

- 世界と日本全域に、不況に伴う不安定、不透明な経済環境 → 退会
- 高齢、病気、死亡 → 退会
- 地方都市の過疎化 → 退会
- 事業の合理化に関する職務多忙(例会に参加できない) → 退会
- 例会時間帯、例会費が高い → 退会…負担
- ロータリー情報不足、理解不足(ロータリーの魅力がわからない) → 退会…失望感(期待はずれ)

(入会3年未満の退会者が多い)

会員減少の第2の原因

- 円熟したロータリアンの熱意不足…せっかくの貴重な経験や豊富な知識が活かされない
- 伊豆会談の不足(建設的、親密な人間関係が築けない)…ロータリーの過去の歴史や現在・将来を時間を気にせず語り合う機会が失われつつある
- 「ロータリー愛」が金銭的に薄れる傾向…熱いハートでロータリーを語る人々が減少
- ロータリー本来のもつ、ステータスや魅力にかげりが発生しているのでは?
(1業種1名、メークアップ期間延長など価値判断基準の多様化)
- クラブ会長の会員増強スイッチがONでない
- クラブ会長・幹事は奉仕活動に優先順位があり、会員増強の順位向上ができない
- 会員増強は誰かがやってくれるという「他力本願」的な考えに支配されていないか?
- 会員増強委員会は、社会不安の中、地域内での増強見込みに消極的になっていないか?
- 女性会員への理解不足

会員増強に対する専門的知識や方法、手段が不足
などが考えられる。

会員減少に類する問題点

- 8月の会員増強月間で提唱された熱意が持続できない。
- クラブ会長、幹事が会員増強について、具体的な方針や計画を持たない。その結果、熱意、使命感を持って訴え続けられない。
- クラブ奉仕関連、会員増強セミナーなどで学んだことが、ホームクラブに完全に伝達されていない。
- 「委員会報告」で発表して終わり。
- (義務的な出席、資料を受け取って自己満足一会員増強に反映されない)
- クラブ運営の理事役員において会員増強の年間を通じた長期的展望がない。
- 女性会員の入会に拒否反応を示す会員がいる。

会員減少に類するその他の問題点

- 公式行事やセミナーにおいて、講師自身の、会員増強について否定的とも受け取られかねないスピーチが存在する現実がある。
 - 女性会員の入会について、積極的に推進しようという雰囲気づくり、理解を深めようとする努力の欠如がある。(女性経営者の増加、女性だからこそできる職業分類上の増大、女性会員が入会されることによる効果など)
 - 追入者を再入会へと促す視点の欠如。
 - 入会を進めるに当たって、テキストになる具体的な資料がない。(入会のしおり)
 - 新しい会員にロータリーへの理解を助ける具体的な資料がない。
- (入会3年未満の会員向け…平易な言葉と写真付のテキスト、ビデオテープ・DVDなどの映像)

会員減少に類する改善と提案について

- 会員増強は最優先かつ緊急性の課題であり、専門知識と資格あるRRIMCの増員を進めて、きめ細やかな助言、提案がなされるべきではないか。
 - 従来からのクラブ内に限定した新会員の勧誘には限界がある。
- RCは日本中にあるのだから、全国的(クラブ・地区・ゾーンを超えて)な会員増強のための広域的ネットワーク化を推進してはどうか? (別紙参照)
- 今までは、地元以外のRCの情報は掴みにくく、確実な紹介やフォローは余程のことがない限り困難であった。趣味のグループや同僚の友人、転勤者、高校・大学の先輩や後輩、同業の友人、親戚、自分の所の勤務者が独立した場合などが対象と考えられるが、まずはガバナー事務所が窓口になり、会員候補者の紹介を受け付け、該当するグループのガバナー補佐へ情報を提供し、その後の結果も集計し、紹介者への入会の可否を連絡するようなシステム構築をしてみてもどうか? (別紙ネットワーク)
- 【国内におけるロータリークラブの会員数(2月22日・R1データ)】
- | | | | |
|-------------|---------------------|----------------------|-------------|
| ※会員数が多いクラブ | ①東京(326人) | ②大阪(266人) | ③東京中央(239人) |
| ※会員数が少ないクラブ | ④加世田/鹿児島、松前/北海道(3人) | ⑤松橋/熊本、座間中央/神奈川県(4人) | |
- 国内においても、会員数にこれ程の開きが見られる。少人数クラブの為にも、多方面からの推薦・紹介が実行されるならば、このネットワークは効率よく会員増強を進める手段と言える。

- 会長・幹事は、任命された期間の前に、ガバナー・地区幹事・ガバナー補佐との信頼関係を築く場を多く持つほしい。(現状はPETSと地区協議会しかない)
- 会員増強委員会の構成メンバーは、単年度でなく、複数年(3年程度)在任することによって、スムーズな計画実施ができる。
- ロータリーソングに会員増強を促す作詞作曲を考えるとどうか。(手話付き) …国際親善奨学生(声楽)によるCD化、DVD化
- ロータリー活動の広報対策…民放テレビが放送する天気予報のバック映像のスポンサーとして、3年間程度の契約を結び、各都道府県のRCが実施する特色ある奉仕活動を広く伝えてPRを計画してはどうか。

会員増強推進のために

前述の事項を満足させる為には、欠けている部分を補うことを、各クラブ会長に再認識して頂くことが最優先されるべきです。会員増強は、ロータリーにとって最優先課題であり、従来のクラブ単位の増強方法には、時代的背景も加え、限界を感じざるを得ません。別紙に記す、会員増強のためのネットワークは、全国の会員が国内の全ての知人、友人、取引先など、信頼感の伴う人々をお互いに紹介し合うことによって、全体的な会員増強を促す大きな助けとなりうると確信しています。

成果が表れるためには、多少の時間と期間を要すると考えられますが、このシステムが現実機能すれば、大きな飛躍が十分に期待できます。

既に、私達の第2740地区においては、数例の成功事例が実現しています。また、2009年ロータリーの友8月号16ページを読まれた人々から、高い関心が寄せられていることも事実です。

結論

会員増強は一朝一夕に達成されるものではないことは明らかで、会員増強のためのスーパーマンは日本に存在しません。しかし、会員増強なくしてロータリーの未来は語れませぬ。

ポール・ハリスの提唱した精神は、新しい会員が誕生し、彼らが先輩ロータリアンから多くを学び、円熟度を増してこそ達成され、受け継がれていくものと確信しています。各クラブで長年実施された会員増強と、広域的なネットワークの会員増強システムは車の両輪となり、四輪駆動車のように力強い成果が十分に期待できます。

おわりに

ロータリーの会員減少は13年連続で発生しています。これは日本のロータリーの非常事態です。

共に、手をつないで、私達のこの年度、この集まりを転機に、ロータリーの輝く未来は、会員増強が源であることを全国に呼びかけたいものです。

「ロータリーの未来は、あなたの手の中」に託されているものと信じています。新ロータリー年度も「ここの中を見つめよう 博愛を広げるために」ロータリーの魅力を積極的に発信して参りましょう。

例会報告



第2687回例会 2011年8月10日

会長挨拶



常盤映彦 会長

こんにちは。
今日も非常に暑い日になりました。

昨夜長崎では原爆の被爆者を悼む行事が行われ、慰霊の万灯流しも行われたようです。

環境、温暖化対策が叫ばれて、原子力発電が進められましたが、事故の影響が長く残るので、被爆国である我が国は安全に対してより慎重であるべきであったと思います。

また、松戸神社近辺の坂川沿いでは、9、10日と「献灯まつり」がおこなわれています。

当クラブも協賛しており、エレクトの加藤会員が少し前まで委員長を務めてられましたし、会員の方々にもご協賛いただいている行事です。

まつりといいますが、神社との関わりはなくももとは、松龍寺の観音様のご縁日が元になっております。この日にお参りすると「四萬六千日」お参りしたご利益があるとされます。

此の観音様は「すくも塚」から、すくもとは、もみ殻とか藁屑を積んだところという意味です

が、見つかったものです。

少し場所は動きましたが、松戸の伊勢丹のそばのすくも塚稲荷のあった場所から見つかったとも聞きますが、今は松戸の古刹松龍寺に安置されています。

昔はトウモロコシ市が盛んだったようですが、今は「献灯まつり」になりましたので沢山の露店も出ており、町会など地域の方が店を出していますので、リーズナブルに楽しめます。震災支援灯籠等もあり、献灯、灯籠流しには慰霊の意味もありますが、そこまで考えずとも、会員の方もボランティアで出ていますので、葛西屋さんで浴衣を買って、峰月さんに寄ってお菓子を頼りながら夕涼み、という感じでお出かけになったらどうでしょう。

御報告



伊原清良 会員

伊原会員より2010年～2011年のクラブ会計報告(平成22年度第54期収支報告)がありました。

幹 事 報 告



中澤雅彦 幹事

1. クラブ内、会議・連絡事項等の案内
来週8月17日の例会は、定款第6条第1節により休会です。お間違いの無いようお願いします。
2. 外部からの会議・連絡事項等の案内

「米山記念奨学生とロータリアンの合同懇親会のご案内」が届いております。

9月11日(日) 17:00~19:00、千葉市中央区センターシティタワー22F東天紅にて開催します。

3. 他クラブ会報・その他
活動計画書が野田RCより届いております。
4. 例会変更の連絡
 - ・柏東RC
8月18日(木)の例会は家族親睦例会に変更
点鐘 16:00 場所 しょうなんゆめファーム
 - ・松戸西RC
8月31日(水)の例会は定款第6条第1節により休会
5. その他
特にありません。

委 員 会 報 告



社会奉仕委員会

平松 徹 委員長

平成23年度の「松戸市献血推進協議会」が、7月28日に開催されました。

私は出席できませんでしたが、資料が送られてきましたのでご報告いたします。

昨年の松戸市の献血実績は、3586人でした。今年目標が7480です。倍以上です。

そのために、実施計画が策定されています。

社会奉仕委員会の本年度の重点取組に、献血の推進が入っておりますので、皆さん献血の方積極的をお願いいたします。

実施計画によりますと、8月15日に松戸市役所で、10月1日(土2日(日))に松戸まつりでそれぞれ献血する場所が設定される予定ですので、献血の方よろしくをお願いいたします。



ロータリー財団委員会

代理報告 林 希一 副委員長

申委員長が本日欠席ですので林が代理で報告いたします。

8月7日の日曜日、千葉市の京葉銀行文化プラザにおきまして開催されました国際ロータリー第2790地区ロータリー財団地区セミナーに申委員長と出席してまいりました。

当日はロータリー平和センター・ホストエリアコーディネーター補佐の山崎氏によるロータリー平和フェローシップの制度についてや、ロータリー平和フェロー達の活躍と題して第7期生の平塚氏による東北の被災地でのボランティア参加時のレポートの講演がありました。また、これから各国へ旅立って行く国際親善奨学生の紹介などそのさまざまな活動に奥の深さを改めて感じました。そして、地区補助金支援プロジェクトとして地域を元気に！を合い言葉に佐倉RCと君津RCの体験談の発表がありました。なお、このプロジェクトは9月30日まで申請を行っておりますので松戸RCでもできる事があれば何か頑張りたい！と申委員長が燃えておりました。

勉強不足をひけらかしてしまうようですが、とても勉強になる有意義なセミナーでした。

例 会 報 告



【入会】森田雅久君
平成15年8月6日(8年)



【誕生】鎌倉康裕君 3日

【出席報告】

会員52名	義務会員43名	免除会員 9名
出席40名	義務会員35名	免除会員 5名
飯欠12名	義務会員 8名	免除会員 4名

【欠席者】

島村 善行君	大川 吉美君	川並 芳純君
中田智次郎君	車田 善教君	三国 大吾君
飛田 勤君	鈴木 昌広君	

【M U】

湯本 高之君	千葉若潮RC	8月4日
中本 激権君	財団セミナー	8月7日
湯本 高之君	千葉幕張RC	8月9日

本日出席率	83.33%
先々週出席率修正	81.63% 86.0%

ニコニコBOX

森田雅久君 / 入会記念のお祝いありがとうございました。記念品のクリスタルガラス文鎮は大切に使用させていただきます。
鎌倉康裕君 / 誕生祝いありがとうございました。65歳になりました。「ゆっくりはやく」余裕をもって生きたいものです。

ニコニコBOX	当日 ¥ 10,000	累計 ¥ 233,000
---------	-------------	--------------

財 団BOX	当日 ¥ 3,898	累計 ¥ 24,205
--------	------------	-------------

文責 / 橋口